



Matsunaga Head Line News

[マツナガ・ヘッドライン・ニュース]

〒339-0043 埼玉県さいたま市岩槻区城南五丁目6番6号 TEL:0120-980-633 FAX:048-798-0075

MITSUNAGA 感動創造建設会社

2025年1月発行 発行元:松永ホールディングス 発行人:松永大祐
www.matsunaga.gr.jp



2025 January Vol.56

謹賀新年

明けましておめでとございます。
本年もよろしく願いいたします。
おかげさまで松永建設は創業62年を迎えました。
本年も社員一同、
お客様のために邁進してまいります。



第62期経営計画
コンベンションMVP

饗庭 克幸



新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては穏やかな新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。旧年中は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。こうして新たな年を迎えられましたのも、ひとえに皆様方のご厚情によるものと、深く感謝を申し上げます。

本年は「巳年」であり、巳年は力を蓄えていたものが芽を出す「起点」の年、また、蛇は脱皮を繰り返す特性から「再生」や「成長」を象徴する年とされています。時代や環境変化の波に柔軟に対応しながら、持続可能な社会の実現へ向け、日本経済全体が新たな未来を切り開き成長する一年となることを願っております。

日本経済では、企業の設備投資は慎重ながらも、人手不足等への対策として省力化や効率化の投資が重要視され、景気回復の明るい兆しが見え始めています。一方で、原材料価格や建設コストの高騰、金利上昇が投資計画を進めていく上での懸念材料ではありますが、我々建設業も従来のやり方ではなく、これまでにない新たな発想や取り組みなどに挑戦する機会であると考えております。

また、急速に進むデジタル化や脱炭素社会への取り組みが一層進展する中、AIやIoTなどの先端技術を活用した新たな事業が生まれています。建設業界においても脱炭素社会に向けた取り組みの一環として、ZEB（ネット ゼロ エネルギー ビルディング）への関心が高まってきており、弊社では本社屋をモデルとしてZEBを取り入れた改修にいち早く取り組み、ZEBプランナーの登録と併せSBT認証も取得いたしました。現在において、多くのお客様からZEB導入のご相談をいただいております。

先行き不透明な経済環境ではございますが、こうした脱炭素やデジタル化に対して自治体並びに様々な企業がイノベーション創出に向けた取り組みを加速させていることは、今後の日本経済にとって希望の光になると期待しております。

さて、弊社はおかげさまで創業62年を迎えました。本年は社員一人一人がお客様の立場で考え、「ツボ(本質)をおさえ」「タイミングを見極め」「ハイスピードで実行すること」を重点に置き、松永建設グループ社員が一丸となって行動することを強く決意いたしました。

どのような経済環境になろうとも、お客様と共に歩み、未来につながる感動を創り続けることが我々の使命として邁進してまいります。

結びになりますが、本年が皆様にとって幸多き一年となりますよう心よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

松永大祐

